

令和4年12月7日（水）

「今 求められているリーダーとは」

セミナー 開催

加速する人口減少、頻発する大規模災害、世界を取り巻く紛争や、それに伴う物価、エネルギーの高騰、そして長引くコロナ禍による先行き不透明な時代私達の生活はかつてない程の不安を抱え、弱者がますます取り残される状況が顕著になっている。こんな時代だからこそ、私達の生活を良い方向へ導くリーダーシップが求められているのではないのでしょうか。

現役リーダーとして、活躍している講師をお迎えし、未曾有の危機ともいえる世の中で、社会課題を解決する為に立ち上がった経緯、そして現在注力している活動を聞き、持続可能な社会（秋田県）を構築する為に、我々が取り組むべき方法を探り、良きリーダーの役割を話し合いました。

講師

秋田県医師会会長：小泉 ひろみ 氏

八峰町議会議員：奈良 聡子 氏

主催

市民活動支援センター・秋田県山本地域振興局・能代市
市社会福祉協議会・県北NPOセンター



★秋田県は人口減少率、少子高齢化も47都道府県でトップ、この状況で10年後、20年後と若者達へは大きな負担がのしかかり、様々な弊害が伴うと思われます。今、私達は持続可能な社会を構築する為に何をすればいいのか？

小泉 ひろみ 氏

自分達ができる事から行動に移さなければならない。地域医療がなくなれば、地域がなくなってしまうのと、同じ。その逆もしかり、健康な方はますます健康に、病気に掛かっても地域医療が誰一人取り残さないシステムを構築する事が大切。地域の病院がなくなっても、その代わりとなる近隣の病院との連携、また病院以外の施設との連携により、支えていく。少子高齢化の影響を受ける秋田県の地域医療、その中で、役割分担と連携を早期に強化している。

コロナ禍により当初の想定より早い状況で、人口減が進んでいる。秋田県医師会でも対応を、前倒しで進めている。

またデジタル化を進め、緊急性の高い手術などを、ロボットアームを使って遠隔操作しながら、対応できるシステムを検証。また、子供が少なくなっても、秋田県を日本一子供が幸せに、豊かに暮らせる社会をめざして動かなければならない。

奈良 聡子 氏

いろんなことを同時に、やっていかなければならない、例えば個人レベルでは趣味でも、ボランティアでも自分が夢中になれる事を見つけて、やってみる。そして、それをSNSなどで発信する。そうする事で、人と人とのつながりが生まれ、それが地域を豊かにする事につながる。この地域には(田舎には)何もないと嘆くより、何かを見つける努力をする。小さな事でも良い部分はある。あきらめないでほしい。また、政治の面からいけば、多様性を認め、差別や偏見をなくし、子供からお年寄りまで誰もが幸せに暮らせる社会をつくらないといけない。何があっても安心して暮らせる社会にしなければならない。

